

もてぎロードレース選手権 第3戦 ブリーフィング資料

【1】走行時の注意について

- 1) 脊椎/胸部プロテクターは、レギュレーションに合致した物を使用して下さい。
- 2) 22歳以下55歳以上のライダーはエアバックの着用が義務です。
- 3) スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行して下さい。また、各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行する時は、お互いに注意して追突等がないように走行して下さい。
- 4) ピットレーンは60km/h 以下で走行して下さい。
- 5) 予選時間は20分間です。
- 6) 転倒および車両トラブル等で停止した場合、ガードレール後ろの安全な場所に移動するまではヘルメットを脱がないようにしてください。

【2】フラッグ・シグナルの運用について

- 1) ライトパネルが各ポストに設置されています。
従来の信号同様、フラッグ（旗表示）の補助表示として使用されます。
もてぎロードレース第2戦では「黄旗1本」「黄旗2本の振動表示」「緑旗」「青旗」「赤旗」「赤ストライプ付黄旗（オイルフラッグ）」、「レッドクロス（赤い斜め十字の入った黄旗）」が主に使用されます。
- 2) 各走行の1周目はポスト位置確認のため、全ポストで緑旗を振動表示します。
チェッカーフラッグはメインフラッグ台から提示されます。
※メインフラッグ台下のピットウォールからも提示。
- 3) チェッカー旗提示後の黄色旗運用について
走行終了時のチェッカー旗提示後、コントロールラインを最初に通過したライダーに合わせて、各ポストで黄旗の1本静止が提示されます。
チェッカー後の黄旗提示目的は、走行の終了時にチェッカー旗の見落としによるダブルチェッカー防止の為、チェッカーを受けたライダーに対して各ポストでサービスフラッグとして「黄旗の静止提示」を行います。但し、走行終了直後の複数台による団子状態の場合は、黄旗の静止提示は状況を見て運用を行います。
- 4) インフォメーションパネルがシグナルブリッジに追加されています。
RIDE THROUGH ペナルティー、PIT STOP ペナルティー、ブラックフラッグ、オレンジボールがゼッケン番号とともに表示されます。※メインフラッグ台でも同内容が提示されます。

【3】決勝スタート進行について

- 1) 詳細は、別紙のスタート進行表を参照にして下さい。
ウォームアップラップ開始3分前になりましたらメカニック2名以外はグリッド上より退去。
- 2) レッドライトが点灯してから消灯するまでの間に前進したら JumpStart と判定します。
(一旦前進してから止まっても有利不利に関わらず JumpStart と判定します。)
※周囲の選手につられて飛び出さないように注意して下さい。
- 3) JumpStart のペナルティーは、ライドスルーペナルティーとします。
ライドスルーペナルティーについては、『RIDE THROUGH』の文字の下にゼッケン番号を記した一体型の黄色のボードがメインフラッグ台と5コーナー手前右側の8番ポストから提示されます。
当該ライダーは、ピットレーンに入り速度制限を遵守し、途中で停止する事なくコースインして下さい。

【4】NEO STANDARD 宛

- 1) 予選走行時も必ず腕章を右腕に着けて走行して下さい。
- 2) 決勝スタート時に走行するライダーは、予め赤色の腕章を着けてサイティングラップへ出走して下さい。
- 3) 2名登録しているチームは2番目に走るライダーが黄色の腕章を着けて走行して下さい。
1名登録のチームは決勝レース中にピット作業エリアにて、黄色の腕章に付け替えて下さい。
- 4) 参加受付を完了したライダーもしくはピットクルーのみ補助を行うことができます。
- 5) 安全のため、ライダー交替、または、腕章を付け替える際には、必ずエンジンを停止させて下さい。

ライダーズブリーフィング補足資料

① ピットレーン制限速度 計測開始ライン (資料1-4項)



② ライトパネル設置箇所(資料2-1項)



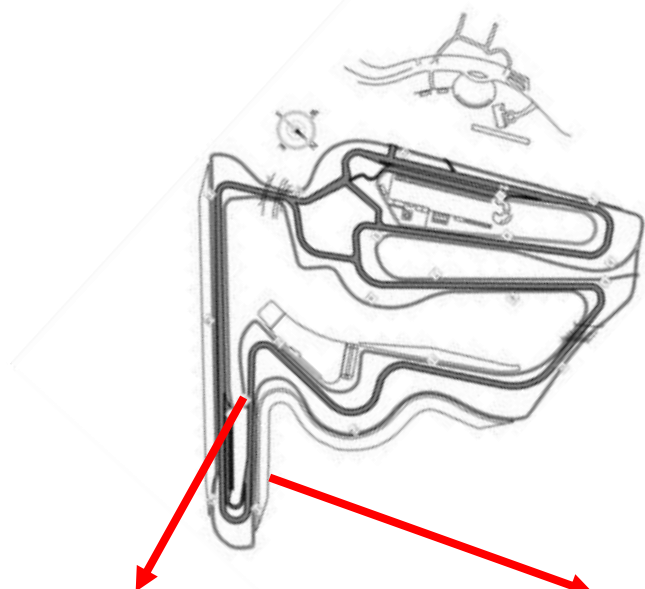
③ インフォメーションパネル表示内容(資料2-4項)



2023 年国際レーシングコース改修工事について

国際レーシングコース ロードコース（4.8km）の更なる安全性の向上を目的とし、改修工事を実施いたしました。実施内容は以下の通りとなります。

●コースサイドバース修正と追加（V 字コーナー立ち上がり～ヘアピン手前）



・V 字コーナー立ち上がり右側（修正）



アスファルトバース幅を 2 mから 1 mに修正

・ヘアピン手前 左側（追加）



・アスファルトバースを追加